

# 令和 4年度予算見積調書

課室名：河川環境課  
 担当名：河川環境担当  
 内線：5112

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B53	川の再生推進費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	川の再生推進費			
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	河川法第9条第2項			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	11, 15, 17	
	令和12年度			分野施策	1002	恵み豊かな川との共生	SDGsターゲット	11-5, 15-1, 17-17			
1 事業概要				5 事業説明							
<p>埼玉版SDGsは、「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を重点テーマの1つに掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。</p> <p>河川は、洪水から生命や財産を守る治水機能、生活に必要な水の確保などの利水機能を担うだけでなく、河川を持つ自然や水辺空間は生物の生息・育成環境や人々の豊かでゆとりのある生活環境を提供している。</p> <p>そこで、民間事業者等とも連携し、環境、社会、経済の三側面から「豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉」の実現に向けて川の再生を実施する。</p> <p>(1) 調査・測量・設計費 130,000千円                      (2) 施設整備費 340,000千円</p>				<p>(1) 事業内容                      民間事業者等と連携した水辺空間の利活用（水辺deベンチャーチャレンジ） 470,000千円                      企業や観光協会など、民間事業者と連携し、アイデアやノウハウを活用することで、河川や調節池に新たな魅力を創出し、地域の賑わいの場、憩いの場とする。</p> <p>(2) 事業計画                      市町村から民間事業者等と連携して実施する取組を公募し、利用調整協議会で利活用や維持管理、施設整備計画を検討、計画が具体化した箇所から整備を実施する。</p> <p>(3) 事業効果                      民間事業者や地域住民、行政など多様な主体と連携して水辺空間の利活用を推進することで、新たな魅力を持った河川空間が創出されるとともに、地域住民が地域の川を誇りに思う「シビックプライド」の意識が醸成され、継続的な地域活動が実現する。</p>							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×6人=57,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比		
決定額	470,000	県債						80,000	98,100		
前年額	371,900							91,900			